

# あいめーる

SUMMER

## 愛隣館通信

令和3年8月10日発行  
発行  
社会福祉法人 愛隣園  
障害者支援施設 愛隣館  
発行責任者 三浦貴子  
編集 広報チーム  
キャリアビジョン

〒861-0551  
熊本県山鹿市津留 2022  
TEL 0968-43-2771  
FAX 0968-43-2793  
http://aileans.com  
E-mail  
ailinkan@magma.jp



並んだ利用者の間を移動し接種される東沙羅医師:食堂にて

### 新型コロナウイルスワクチン接種

昨年山鹿市の高齢者施設二カ所でクラスターが発生し、他人事ではないと実感しました。二月に全スタッフが初めてのPCR検査を受け全員陰性でした。大丈夫だろうとは思いながらドキドキとした緊張感の中、だ液を採取したこと、そして陰性だと分かった安堵感は今でもはっきりと覚えていきます。

あれから半年。「一日も早く一人でも多く」ワクチン接種が受けられるように、再び安心な生活が送れるようにとの願いで取り組んでまいりました。まずは医療従事者(看護師・理学療法士)が接種を受け、六十五才以上の高齢者の予約日には愛隣館全てのパソコンと手持ちのスマートフォン、あわせて約三十台とスタッフをフル稼働し、一般申込で対象者二十二名を予約することができました。また福祉サービス事業所従事者として四十一名の職員が、鹿本市民センター「ひだまり」にて優先接種しました。

いよいよ七月二日、迎えた愛隣館での一回目の集団接種の日(※写真)。事前の打ち合わせを何回も重ね、東内科小児科医院(山鹿市)の医師・看護師のご協力により、無事に予定していた百二名(入所者・通所者・職員)の接種がスムーズに行われました。接種による副反応は数名見られましたが随時対応し、特に利用者の健康状態には極力留意しているところです。

そして恒例の七夕飾り。新型コロナウイルスがなくなる願いを込めた言葉が数多く見られました。当日行われた焼肉会のお肉は特に美味しかったです。一日でも早く安心・安全な日常生活が送れることを願っています。



地域福祉部利用者・職員ワクチン接種:訓練室にて

※ワクチン接種とPCR検査の主な経過について2頁に掲載しています。

ワクチン接種とPCR検査の主な経過表		月/日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日			
2月	医療従事者																																			
	65歳以上																																			
	65歳未満 ※PCR検査																																			
<b>3月・4月は特になし</b>																																				
5月	医療従事者																																			
	65歳以上																																			
	65歳未満 ※PCR検査																																			
6月	医療従事者																																			
	65歳以上																																			
	65歳未満 ※PCR検査																																			
7月	医療従事者																																			
	65歳以上																																			
	65歳未満 ※PCR検査																																			

今年二月から、最重度障害者の生活施設で構成する熊本県身障児者協として、早期接種の要望書を県に提出し、幾度も県や市の関係機関と交渉させて頂きました。国の通知には「高齢者施設等」の「等」には、障害者支援施設は含まれると明記されているものの、例えば高齢者の次という解釈がなされていて、自治体の対応は様々でした。

高齢者施設の接種から約二カ月遅れとなり、途中に感染拡大の時期が来て、障害者支援施設関係者には不安と焦りがあったのは事実です。

六月中旬接種が進み始め、やっと少しずつ規制を外し、日常に向かえる口への希望が生まれてきました。集団接種をお引き受け頂いた医療機関と、一般接種の残りワクチンを計画的に福祉従事者へ振り分けて下さった市に感謝します。市の接種会場は、土・日に市職員総出、医療ボランティアの方々も相当な人数で運営されていました。その献身が忘れられません。

都市部の感染拡大状況に比べると、今、小康状態の熊本です。これから幾重にもハンディを負って開催となる東京オリンピック・パラリンピックを、



館長 三浦 貴子

七月第三週に愛隣館は、コロナ予防ワクチンの二回目接種を、全利用者、職員共に終える見通しとなりました。

「コロナワクチンとオリンピック」

五月二十五日からお世話になっております。

先ずは自己紹介ですが、七月で四十七歳になります。若そうに見えて結構オジサンです。愛隣館に近い三岳住民です。以前は北区(植木町味取)にあるJA熊本経済連第一園芸集送センターと言う所で、野菜の荷積み作業で約二十四年間働きました。

又、NPO法人ゆっあい園本人部会に所属しており、定期的に行われるイベント等に出来る限り参加していました。僕は、食べ物が嫌いな物はないです。



入居者 井上 優城

新しい仲間

最後に私、自分の運を使い果たしたかと思う程複数、オリンピックのチケットに当選していたのですが、無観客は必然と受け入れられました。テレビの前で、この競技生で見たのにと、悔しがることを楽しみにしています。

静かに利用者の皆さんと観戦したいと願います。一人ひとりのオリ・パラスリットは、見る私たちとは比べようもない程、苦しい時期を超えてこられたと思っています。そのことにも想いを馳せながら応援します。

四年前のリオオリンピックを、ほぼ全競技見た当時八十八才の母は、四年後の東京まで生きてるか知らずとつぶやいていました。すこぶる元気で再び観戦できそうです。



テレビ番組では水戸黄門を観ていました。歌を歌ったり、踊りも好きです。  
まだ慣れない車椅子生活ですが、皆さん仲よくしてください。よろしくお願い致します。  
(代筆：姉)

新人職員紹介



地域・看護師  
塚本 陽子

今までは、老人保健施設や医療機関で看護師として仕事をしてきました。最初は不安や緊張もありましたが、周りの方々に助けていただきながら少しずつ仕事の方にも慣れて来ました。

まだまだご迷惑をお掛けする事もありますが、利用者や職員の方々にいろいろな事を教わりながら毎日楽しくお仕事が出来る様一生懸命がんばります。



地域・世話人  
池上 朝美

介護の仕事は全く経験はありませんが、元気だった母が突然、全介護のお世話にならなければならぬくなり母の恩返しをしたいとの思いで、愛隣館で働かせて頂く事になりました。

初めて介護の現場を見て、職員の方々の「笑顔・パワー・皆さんの「コミュニケーション」にただただ

だ頭が下がる思いです。

毎日、利用者の方々と職員に優しく丁寧に教えて頂いております。わからない事がたくさんあり、ご迷惑をお掛けしますが、一日も早くお役に立てる様に、又、利用者と同苦し、励まし、寄り添う事ができるように日々精進してまいります。



入所・生活支援員  
高田 美智子

一月より月水金の半日お世話になっております。卒業後、愛隣館創設当初から介護スタッフとして働いておりました。今回母となり再び愛隣館にて働くことに感謝しております。

当時いらした入居者の(故)杉山伸一さんに再会もできず心残りの思い出を、仕事を通して埋めていけたらと思っております。  
謙虚さを忘れずに頑張りたいと思います



地域・世話人  
村上 たつえ

ぴあハウスでは洗濯と掃除を主な仕事としています。ぴあハウスの皆さんが出かけられた後に愛隣倶楽部で食事の準備と後片付けをする毎日です。

初めは馴染めるか心配だったのですが、少しずつですが仕事にも慣れてきたこの頃です。直接介護の仕事では無いので、掃除や食事の準備等を通してですが、利用者や職員と一緒に過ごしやすい気持ちの

いい空間作りができたと思います。

至らない事も多いと思いますが宜しくお願い致します。



地域・看護師  
小谷 優子

二十年前にも愛隣倶楽部と本館に所属しておりました。利用者や職員の方々の笑顔と笑い声に包まれ、和気あいあいとした変わらぬ雰囲気がとても温かく懐かしく思いました。

新型コロナウイルス感染予防に努め、利用者へ安心・快適に過ごして頂けるように微力ながらお手伝いできたらと思っております。



地域生活支援員  
吉村 千恵

「障害者総合支援法(二〇一八年四月施行)」の新しいサービスで、先日認可がおりた自立生活援助事業の担当です。これは、地域移行サービスの、「その先」にあるサービスで、地域生活の場に出てくるいろいろなニーズに沿ってサポートを提供するものです。

障害者の地域生活最初の一年に関わることは光栄なことだと思っています。しかし、なにぶん新しい事業でもあり、私自身も愛隣館新米職員です。いろいろ皆様に教えていただきながら障害者の想いに沿いながらやっていきたいと思っております。

### ギャラリーウォールにて 個展開催

総務部 納富 久

今年度の四月に地活びあびあ内に、ギャラリーウォールを開設してから、アール・ブリュット パートナーズ熊本の登録作家である松本寛庸さん、山品聡美さん、野尻三正さんの個展を開いてきました。



このように常設で展示ができる場所は、作品発表の場となるだけでなく、芸術を楽しむ場、観覧するためにお出かけする場となり、コロナ禍の閉塞感を和らげる場所になっているようです。

山鹿市の中心地  
温泉プラザ山鹿で

個展開催をご希望の方は、事務局(0968-4312771)まで。

※写真は自身の作品を説明している野尻さん(左)

### ヒューマンライツ委員会

ヒューマンライツ委員会では、利用者の方の権利擁護や、より気持ちの良い接遇やケアがスタッフ全員で実施できるように、施設内研修や周知の活動を実

施しております。

今年度より身体拘束適正化部会を立ち上げ、愛隣館のガイドライン作成を行っている所です。やむを得ない身体拘束とは何か確認し、実施する際に必要な手続きや記録について整理しております。

利用者の方の健康や尊厳を守るために、支援のアプローチについて学び続けていく方針です。

### 労働安全衛生委員会

四月は『労働安全衛生委員会の役割』、五月は『職場環境改善①〜梅雨を前に〜』、六月は『熱中症、食中毒予防』、七月は『禁煙の推進』をテーマに委員会を開催しました。

職場環境改善では職員駐車場の整備や駐車場から公道に出る箇所の生垣の剪定、梅雨前に雨樋の清掃等を行いました。

また、これから暑さが厳しくなります。熱中症には十分気をつけて下さい。

### 自立生活援助事業が開始

指定年月日：令和三年七月一日  
サービスの種類：自立生活援助

目的：利用者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことが出来るよう支援すること。

※詳細は、担当：吉村までお問い合わせください。

### お知らせ

◆ 電動スロープ付き福祉車両の寄贈

入居者の東智徳さんより、「ご自宅に所有されていた電動スロープ付きの福祉車両(アルファード)を寄贈していただきました。

早速、通院や外出行事に使用し、「乗り心地が良く、運転しやすいい」と好評です。ありがとうございます。

※智徳さんがネットで購入された車。



### ◆ 大型テレビ設置

東京2020オリンピック・パラリンピック開催に備え、食堂に大型テレビ(アクオス…六十型)を新たに購入・設置しました。

画面が大きくなったことで「文字も大きく見えるし画像が綺麗で見る楽しみが増えました」との声も聞きました。



右側が新しいテレビ

『あいめーる』の企画・編集は利用者で構成された広報チーム、キャリアピジョンが担っています。